

ALPSスラリー安定化処理設備設置 の検討状況について

2023年12月18日



東京電力ホールディングス株式会社

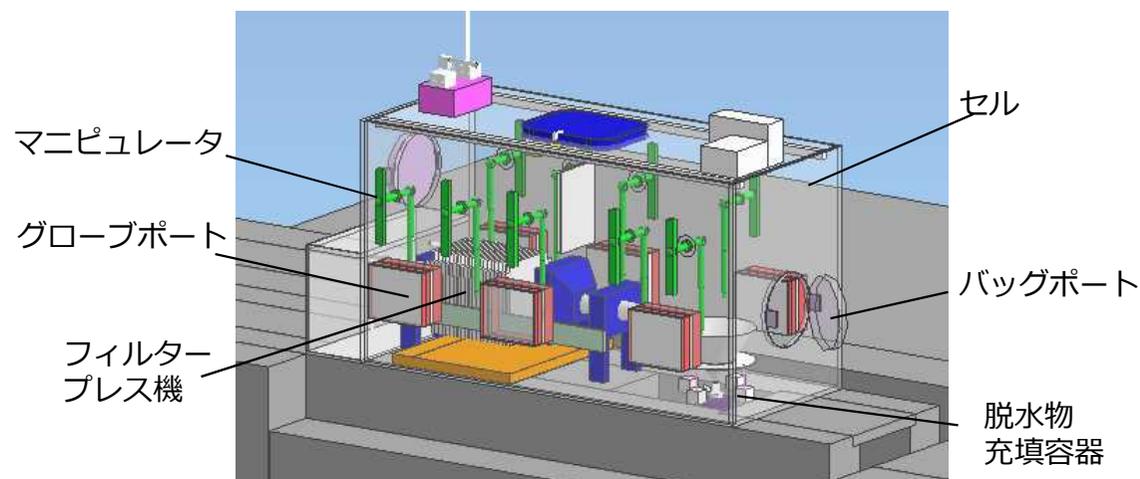
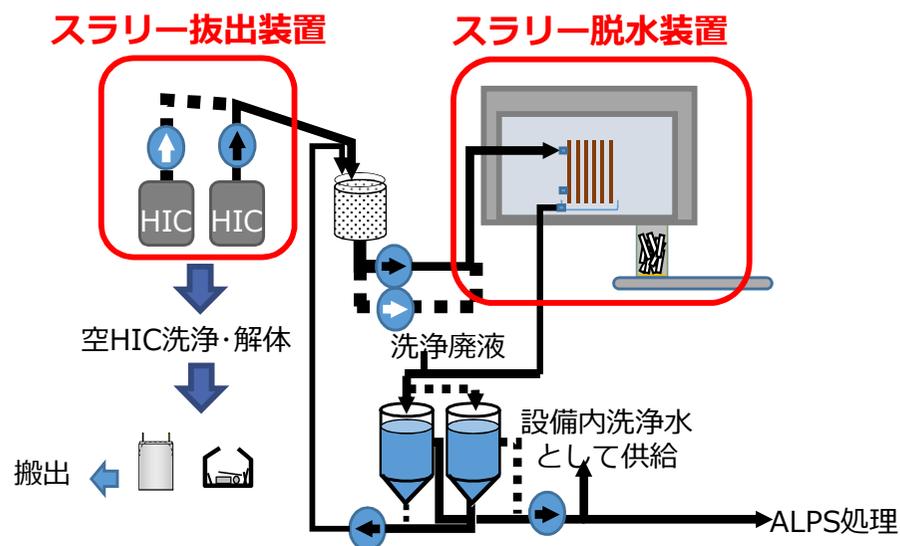
- スラリー安定化処理設備を構成する「スラリー抽出装置」，「スラリー脱水装置」について，下記の観点で成立性検討を実施した。

スラリー抽出装置

- ✓ 水流による攪拌を行い，スラリー抽出の成立性を確認。

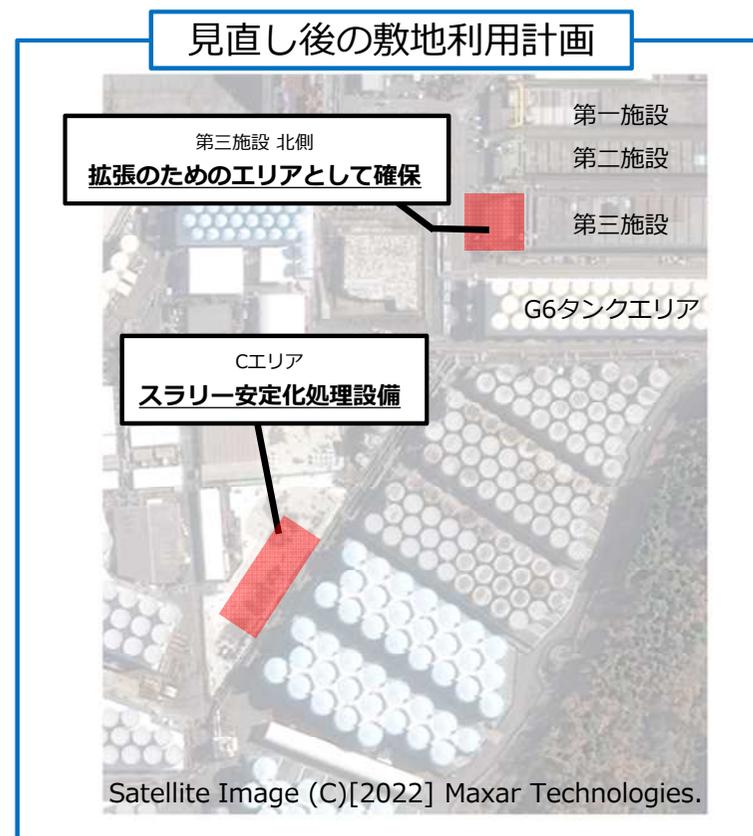
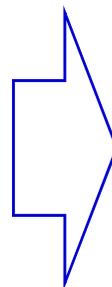
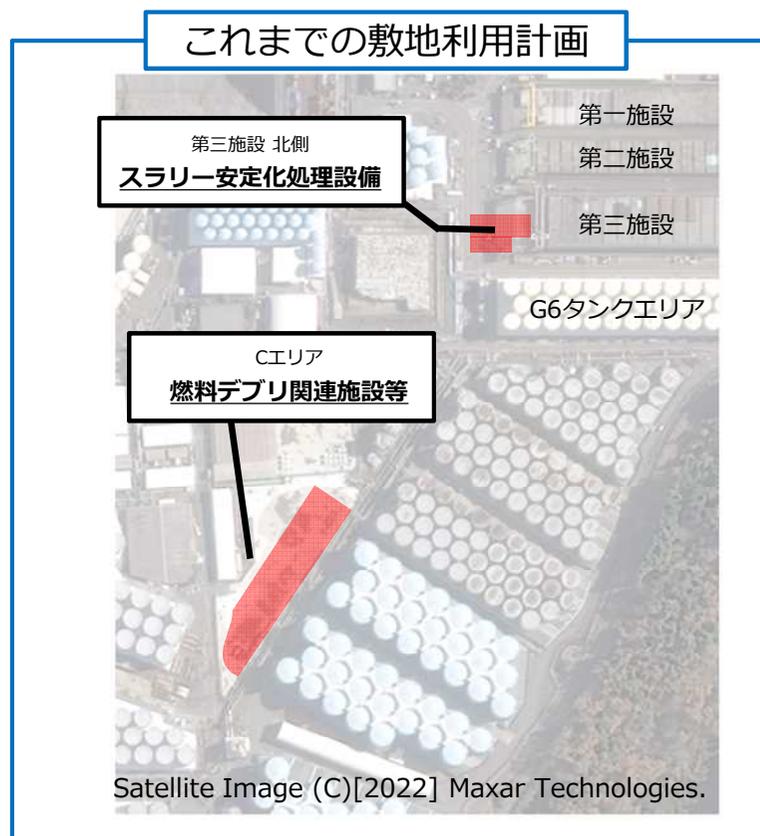
スラリー脱水装置

- ✓ 模擬スラリーを使用した脱水試験により，スラリーの脱水性を確認。
- ✓ マニピュレータを使用した遠隔操作試験により，セル内の機器配置の成立性，脱水処理およびメンテナンスの成立性を確認。
- ✓ 脱水処理時，脱水物充填時において有意なダスト飛散がないことを確認。

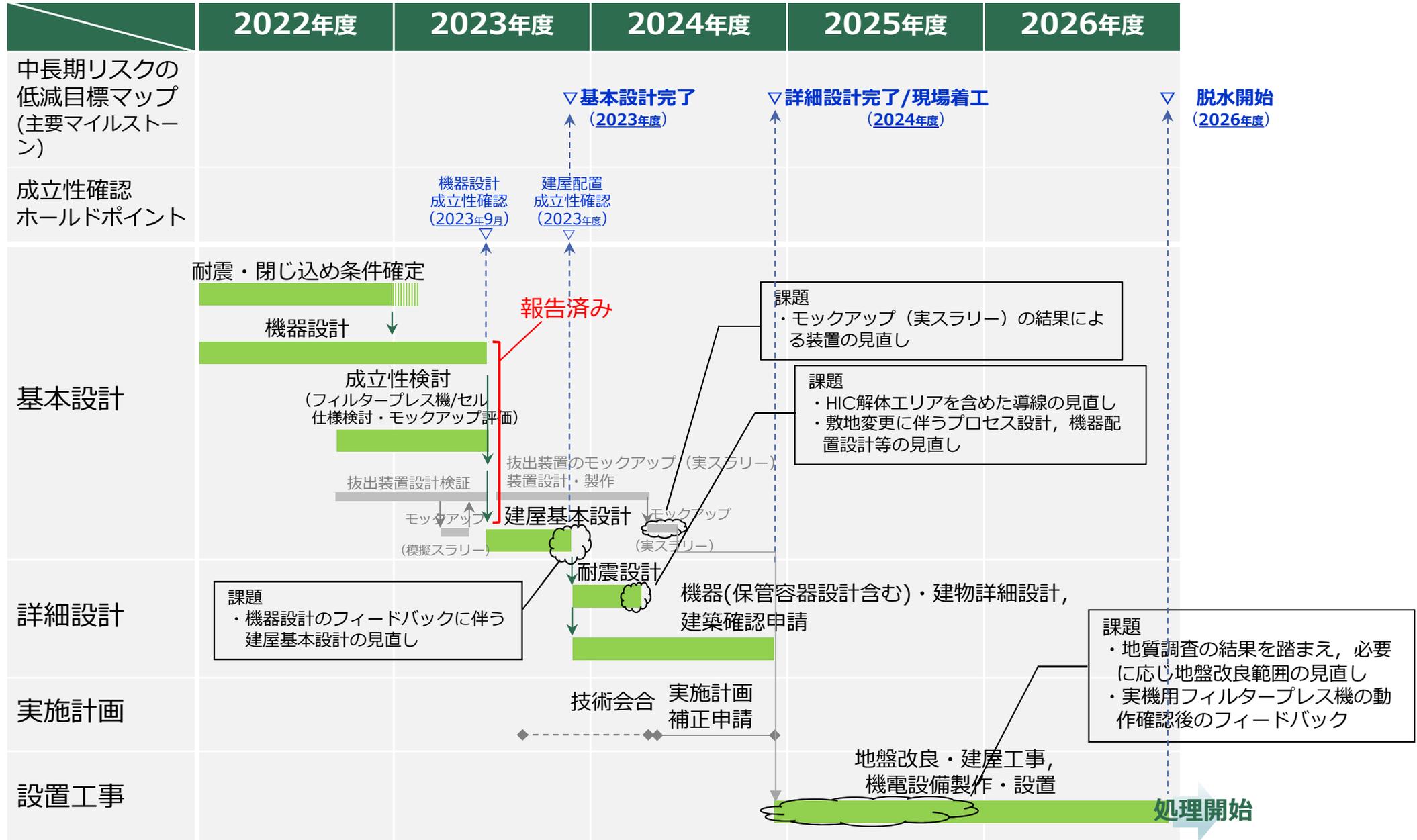


■ 機器配置設計の状況

- スラリー安定化処理設備は、使用済みセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）北側を候補地として配置設計を進めており、配置が成立することを確認した。
- 他方で、スラリー抽出後のHICの解体に関しても、解体設備をスラリー安定化処理設備近傍に設置することで一連の作業の合理化を図れることから、設置候補地をCエリアに変更し、配置検討を進める方針とした。
- 設置候補地の見直しにより、当初の候補地であった使用済みセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）北側は、HIC保管容量逼迫のリスク回避のため、保管施設の拡張のためのエリアとして確保する。



■ スラリー安定化処理設備の処理開始までのスケジュールは以下の通り。



(参考) H I C 保管容量の見通しについて

- HICの保管容量については、使用済みセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の21ブロック目までの拡張を計画済みである（保管容量：4768基）。
- 新たに第三施設北側に3ブロックまで増設可能なエリアを確保し、最大5344基目までの保管容量の増設を見込める。
- 増設については、今後のHIC発生量等を考慮しながら判断していく。

